

# 2025年度 現場点検において確認された「良好な取組み」

- 安全モニタリングシステムを活用した熱中症対策
- 組立式浮棧橋設置による海中転落防止対策
- 自社開発アプリによる点検記録の一元管理（デジタル点検簿の活用）

日本建設業連合会 安全委員会 海洋安全部会では、海洋工事現場の安全衛生、環境対策の推進のために全国の海洋工事現場から毎年数カ所を選び所属委員による点検を実施しています。

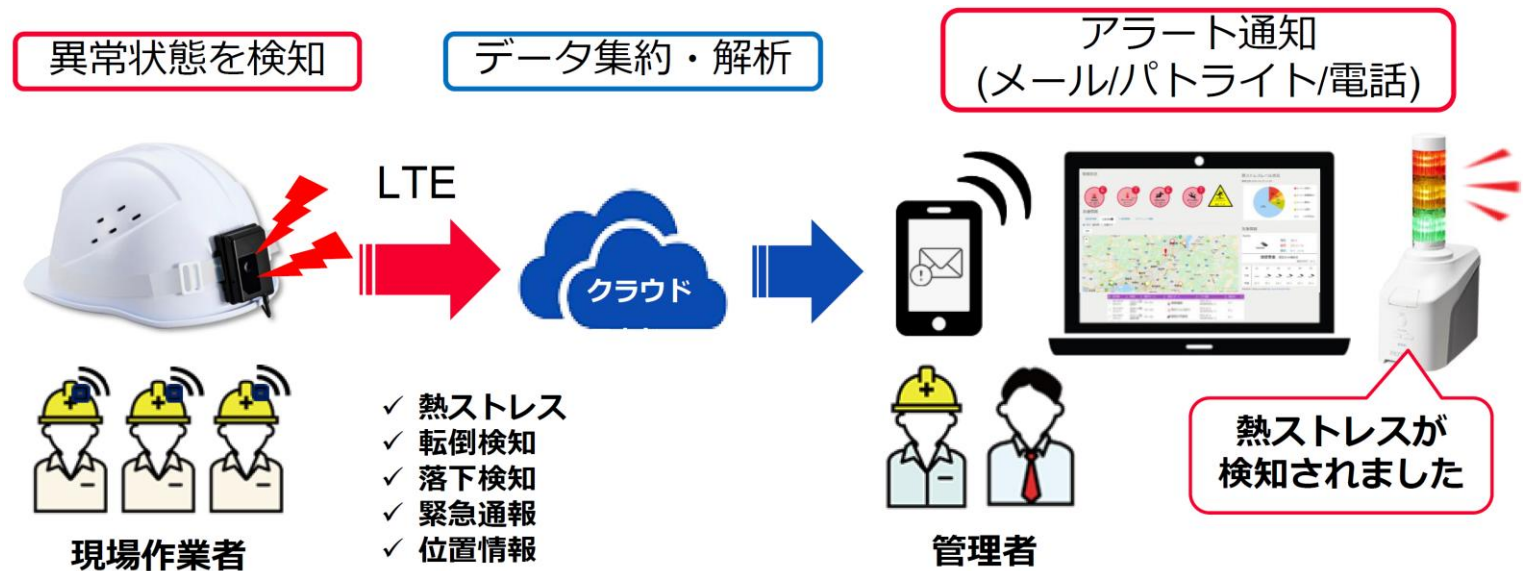
その際に、点検委員が確認した「良好な取組み」について取り纏めたものを紹介いたします。

# 安全モニタリングシステムを活用した熱中症対策

ヘルメットに装着可能なセンサデバイスにより、一人一人の熱ストレス、転倒・落下等を検知し、異常発生を速やかに指定の連絡先に知らせることができる。これにより、様々な異常状態の早期発見と未然予防を実現できる。



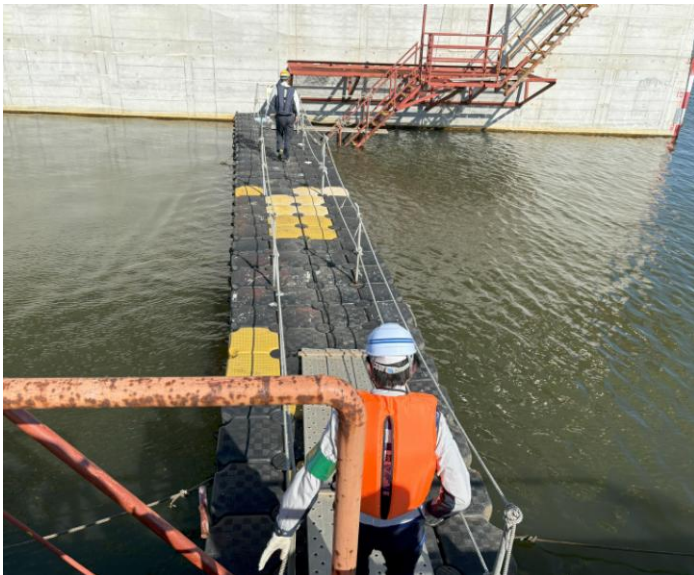
センサー設置状況



運用イメージ

# ■組立式浮棧橋設置による海中転落防止対策

海上のアクセス通路として、組み合わせ式フレキシブル可動浮橋を設置する。通船での移動に比較して自由な往来が可能になるほか、海上転落のリスクも低減できる。キューブタイプのパーツを組み合わせで自由な形の浮棧橋を形成するもので、干満による海面の上下動を吸収でき、運搬や保管も容易でメンテナンスにも優れている。



浮棧橋設置状況



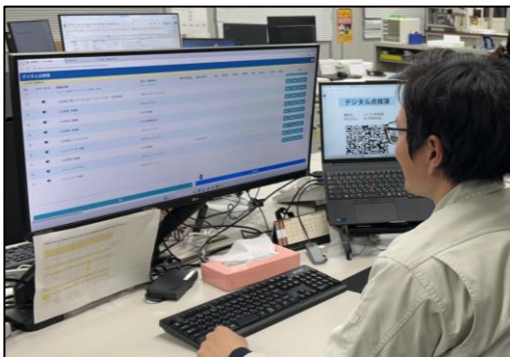
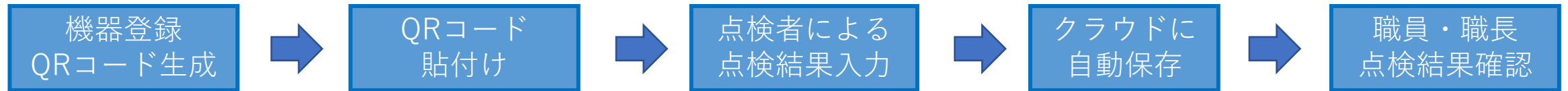
パーツ寸法



組立状況

# ■自社開発アプリによる点検記録の一元管理(デジタル点検簿の活用)

現場では多種多様な機械・設備を扱うため管理が複雑になり、紙の点検表では情報共有や記録検索がしにくいという課題があった。そこで、点検表をデジタル化、QRコードを活用し端末から点検入力、クラウドに保存されたデータを職員が確認というルールで一元管理することにより、記録作業の効率化、共有の迅速化、過去データの検索性向上、点検品質の均一化といった効果が期待できる。





確かなものを 地球と未来に

一般社団法人 **日本建設業連合会**

JAPANESE FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS

安全委員会 海洋安全部会